

ワーク & ライフ



看護師の長時間夜勤の弊害について学ぶ労働組合の勉強会＝名古屋市中区で

hataraku@chunichi.co.jp

「はたらく」取材班

(見や情報は、連絡
住所不要)中日新聞生活
052(222)5284

現状の無理なシフトが拍車

なれ筋にある患者が入院する三十余床の急性期病棟を、夜間は準夜勤、深夜勤の各二人でカバーする三交代制だつた。四年前、病院側の提案で、夜勤二人が一晩、カバーする交代制になった――図。

を見直していないとい
う。

者の入れ替わりが激しくなったことも、看護師の負担増になつてゐるといふ。

はたらく

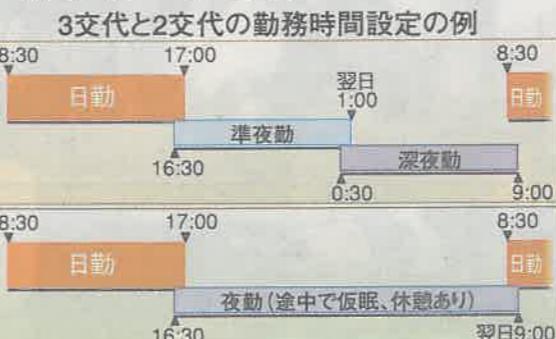
ともに、看護師の負担感が強い三交代制の勤務間隔の短いシフトも問題視。厚労省に対し六月、看護師の勤務の質改善に向け、支援を求めた。

看護師の勤務

2交代制拡大 過酷な16時間

病院で働く看護師の勤務で、長時間の夜勤がある「二交代制」が広がっている。連続十六時間勤務になる場合もあるため、日本看護協会が「長時間勤務は医療安全や看護師の健康へのリスクがある」と、厚生労働省に長時間夜勤の是正を求めるなど、二交代制拡大に歯止めをかけようとする動きも活発だ。

「二交代の導入で肉体的、精神的にきつくなり、多くの看護師が辞めていきました」。名古屋市内の民間病院に勤める五十代のベテランの女性看護師は振り返る。以前は、緊急・重症



4%と増えている。一〇年の調査では、二交替制で働く看護師の九割近くが、十六時間以上働いていた。このような長時間夜勤は歐米にはないという。

日付が変わった午前零時すぎから再び深夜勤に入る。勤務終了から次の勤務まで八時間足らず。西尾さんによると、残業の慢性化で勤務間隔はさらに短くなり、日勤から深夜勤へ連続で働くケースもある。「二交代なら少しはましになるかも」と看護師側も期待してしまふ素地がある」といつ。

方で、疲労は蓄積するばかり。しかも二交代制になつて体調を崩す看護師が増え、カバーで夜勤の回数は月五、六回に増えていった。

が浮くからだ。代なら準夜勤の残業が発生しやすい。二交代だとそれに残代が発生するが、二交代の現

・主任研究員は「交代代制は、夜間勤務中の眠気が三交代より強い。患者さんにとって危険な勤務形態」と指摘する。